

◆太田川駅付近連続立体交差事業 名古屋鉄道常滑線・河和線について

～踏切渋滞が解消されます～

●概要

本事業は、名鉄常滑線・河和線の太田川駅付近約2.7km区間（常滑線約2.0km、河和線約0.7km）の鉄道施設を高架化し、道路と鉄道の平面交差をなくすもので、愛知県が事業主体となって施行しています。

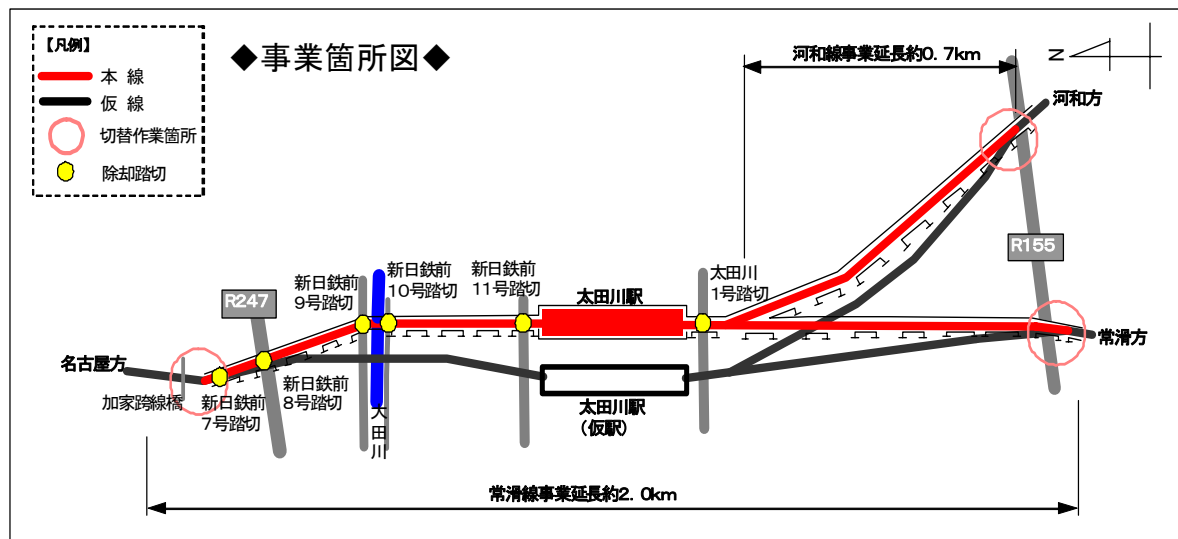
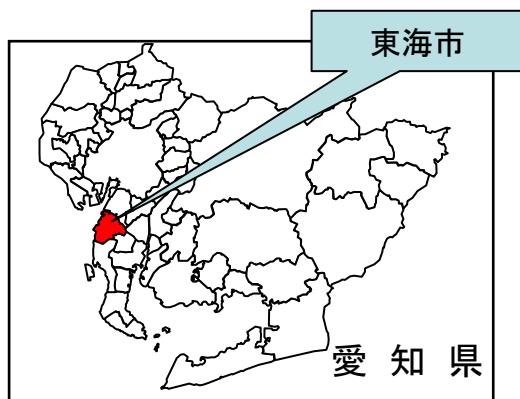
1 事業概要（太田川駅付近連続立体交差事業）

- (1) 目的 踏切事故や交通渋滞を解消して都市交通の円滑化を図るとともに、鉄道を挟む東西市街地の一体的形成を図り、まちづくりや都市の健全な発展に寄与すること。
- (2) 延長 約2.7km（常滑線 約2.0km、河和線 約0.7km）
- (3) 踏切除却数 6箇所
- (4) 立体交差箇所 15箇所（都市計画道路4路線5箇所、その他道路9路線10箇所）

2 事業区間 東海市大田町堀切～東海市高横須賀町尾之松（常滑線）、東海市大田町川島（河和線）

3 経緯

昭和47年度 公共調査
平成3年9月 都市計画決定
平成13年9月 事業認可
平成15年3月 工事着手
平成20年11月 仮線切替
平成23年12月 高架切替



◆太田川駅付近連続立体交差事業 名古屋鉄道常滑線・河和線について

～踏切渋滞が解消されます～

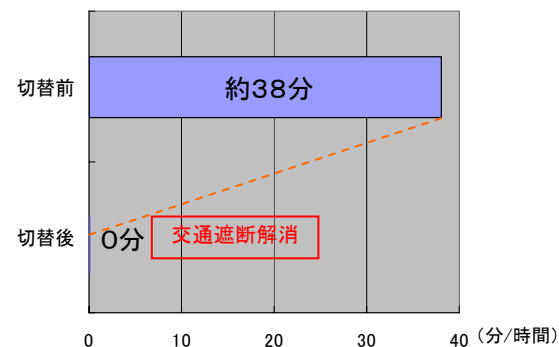
4 切替による効果

高架切替前のピーク時の踏切遮断時間は、新日鉄前7号踏切では約28分、新日鉄前8号踏切では約30分、新日鉄前9号踏切、10号踏切では約33分、新日鉄前11号踏切では約38分、太田川1号踏切では約41分でしたが、今回の高架切替により全ての踏切による交通遮断が解消されます。 ※切替前は、平成16年踏切実態調査による

【渋滞する新日鉄前11号踏切（太田川駅北側踏切）】



【新日鉄前11号踏切の場合（1時間あたり）】

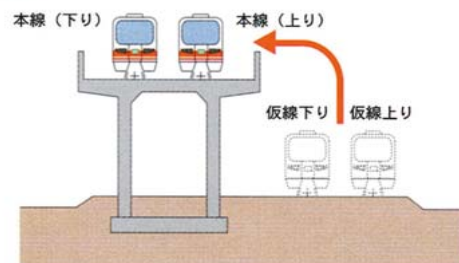


◆今回の切替内容◆

名鉄常滑線・河和線の太田川駅付近約2.7km区間(常滑線約2.0km、河和線約0.7km)について、現在、平面を走行している仮線から上下線ともに高架橋上の本線へ切り替えます。



【現況】



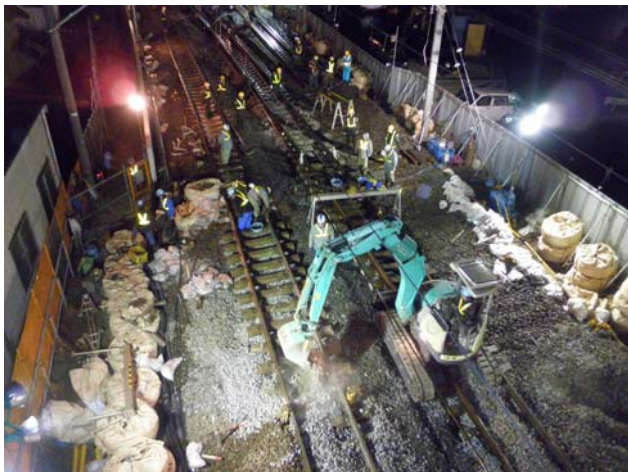
【高架切替概要図】

◆太田川駅付近連続立体交差事業 名古屋鉄道常滑線・河和線について

～高架切替 平成24年12月17日(土)に実施～

高架切替状況

名鉄常滑線・河和線の太田川駅付近約2.7km区間(常滑線約2.0km、河和線約0.7km)について、現在、平面を走行している仮線から上下線ともに高架橋上の本線へ切り替えます。



【線路切替作業状況①】



【線路切替作業状況②】



【太田川駅改札口】



【太田川駅ホーム】